

埼玉県土地開発公社を使って 上尾市はどんな用地買収をするのか

上尾市は市の土地開発公社と同じように図書館用地の買収をして、市民からその高額な買収費を巡り裁判に訴えられました。市は解散した市の公社の代わりに埼玉県土地開発公社を使い用地買収をするつもりです。公社だと議会を通さずに、金額も広さも指定して土地を買う事ができます。いったいどこを買う計画なのか問います。

傍聴をお願いします！ぜひ来てください！

14日(木曜日) 午後1時から2時まで

秋山の活動は皆さんに支えられています。

一般質問への傍聴は秋山の大きな力になっています。

動員する組織がないので、皆さんにお願いしています。

応援よろしくお願いします！！(・ω・)

議会傍聴はどなたでもできます

市役所駐車場の近くの入り口。中にすぐエレベーターがあります
5階に行けばすぐにわかります。入口で書く市の名簿は、私は見られ

ませんので、**私の傍聴名簿を別に用意します**

もし差支えがなければ、記入をお願いします。市の名前記入も私の
名簿記入も任意であり強制ではありません。

交通手段の不便な方は連絡下さい。車で乗り合わせて行きます。

連絡先 090-1463-0872 かほるの携帯です

ネットワーク定例会

9月23日(第四土曜日) 1時30分~柏座コミセン

議会報告と今後の活動について

会報では書ききれない**議会の報告をします。**

市民派無所属



かほるの

議会報No. 4 8

9月議会が始まりましたので
お知らせします

議会は9月20日議案採決があり閉会します

かほるの一般質問は9月14日木曜日午後1時~2時まで

国では来年度の予算が論議され、概算要求という形で示されました。高齢者にかかるお金をいかに減らすか。防衛費をいかに上げるか。理不尽だと思います。国策で若い人の低賃金と不安定雇用を決めたら結婚できず、産まれる子どもは少なくなるのはわかっていたはずです。大企業には税制優遇措置があり、実際に払う税金は名目より少ないのに減税を続け、消費税がそれを穴埋めする形になっています。消費税を上げて福祉は悪くなるばかりです。年金も毎年下がる仕組みが出来上がっています。みなさんの年金積立金は株に投資されていて、減る運命です。せめて市政は住民が安心して暮し続けるための最後の防波堤になるべきと奮闘していますが、上尾市は国より悪いかも知れませんが、一般質問は私のような議員が政策を実現させるための足掛かりとなる重要な場所です。動員という組織がないので、みなさんにお願いしています。お時間のあるかたは、どうぞおいでください(・ω・)

提案されている主な議案

補正予算の主なもの

北上尾駅西口広場に花壇をつくります **1232万円**

全額県の負担です。

就学援助費を前倒して年度内に出すことにします。

準要保護児童生徒の保護者に対し、新入学生徒のランドセル等
学用品を入学前（2月末）に支給する予算です。 **1738万円**

半額は国の補助の対象になります。

道路の修繕費用 **7000万円**

新図書館本館工事 契約の承認

新図書館複合施設建設のための建築工事

落札は千代本興行株式会社

金額 約**12億8304万円**



税金は市長
のお財布？

新図書館複合施設建設のための自動書架・家具工事

落札は株式会社島村工業

金額 約**2億6827万円**

新図書館複合施設建設のための電力設備工事

落札は栄電業株式会社

金額 約**2億3220万円**

新図書館複合施設建設のための空調換気設備工事

落札はアサヒ住建株式会社

金額は約**3億6158万円**

工事合計金額 **21億4509万円**（建物だけです）

駐車場**100**台分と言われた敷地整備はこれからです。

現本館建替えなら工事費は**7億円**ですむのにね！！

かほるの一般質問



人口減少を止め定住化人口を増やす政策について

3月の一般質問で対策を求めました。市は副市長を筆頭に各課を横断する検討組織をつくりました。どんな頻度で会議は実施されどんな年代の人達を定住化させる必要があると考えているか研究成果はどのように公表されるのか。現在までの検討経過はどうなっているのか問います。他市へ出ていく人が多いのは問題です。

高齢者が介護状態にならず、元気で暮らせる政策について

女性が圧倒的に多いアッピー元気体操、夫は家で留守番。では困りま。高知市が米国国立老化研究所が推奨する運動プログラムを参考に開発した「いきいき百歳体操」（筋力アップトレーニング）は市内3百か所で実施され男性に評判の良い運動です。上尾でも実施を検討していましたが、いつの間にか子どもも一緒にアッピー体操パート2に変わってしまいました。今まで実施してきた予防事業の検証と来年度の計画を明らかにします。今まで杖をついていた人が元気で歩けるようにまた、高齢者の免許返納に対する市の政策についても問います。

図書館本館が上平地区に移転でも

駅に近い現本館を有効活用する政策について

市の説明では現本館利用者は全部新館利用者になり、上平公園で運動する人も全員新図書館利用者になるとして、利用者増を表明していません。そんなことはない、と現本館利用者のアンケートは言っています。駅に近いから利用する人も多いのです。市の説明では現本館は利用価値のないものになってしまっていますが、そんなことはありません。図書館機能と併せて地域コミュニティ施設として利用できるようにすべきです。人口も多く、駅に近いという利点を生かし良い施設を！！

裏に続く